

(小島)しんかい祭り

小島新開の家
高齢デイ & 障害者デイ



カラオケ大会での一場面
黄金の2ショット！

秋？本当に？というくらい、まだまだ暑さが残る今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今回は今年初めて行った行事「**新開まつり**」について報告したいと思います。以前から同じ屋根の下でデイサービスをしているのに、高齢と障害はプログラムを分けてしまわないといけないところがありました。高齢者と障害者の根本的な違いにより、どうしても同じ空間で同じ事をして過ごすということが困難でした。せっかく同じ小島新開の家の中にいるのだから**高齢、障害の利用者、高齢、障害スタッフ全員で交流を深める為何かをしよう**ということで新開まつりが開催されました。

高齢デイの方針でもある1週間通して同じプログラムをして、全利用者に体験してもらう形をとりました。障害デイにとっては8月の納涼祭の代わり行事となりました。

どんな祭りかという、簡単にいえば**文化祭的な雰囲気のお祭り**です。毎日いくつかのブース(レクリエーションコーナー)が出店していて、スタンプや得点を加えていきます。最後にささやかですが、プレゼントと本日のおやつを全員でお茶といっしょに楽しみました。

始めはスタッフも不慣れで、この行事の進め方や内容に行き詰り、戸惑いもありました。でも利用者さんは、普段と違うこの行事を楽しんでいただいていたように感じました。

手作り企画でしたが沢山のレクリエーションが同時にでき、そして高齢者と障害者、利用者スタッフなどの垣根を越え、親睦を図ることができました。



キャッチャーUFOの一場面
上手に紙コップを吊り上げている。



的にめがけて投げる**投げ込み寺の一場面**

相互作用、相互関係ができとても良い刺激を受け、「新鮮な風」を皆が体験することができました。

(まるで今年から始まったプロ野球のセパ交流戦のような感じかな？例えば余計分かりにくいかも すいませーん)

来年はどういった形でこの時期を迎えているのか分かりませんが、どういった形であれ高齢者、障害者ともみんな一つになって楽しんで過ごせる時間があるといいなあとしみじみ感じました。

(柴田 涼)